

学 校 通 信

第11号

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/jhshiratori/>

鈴鹿市立白鳥中学校

令和2年度 学校関係者評価

今年度は最後の学校運営協議会を開催できなかったため、書面でいただいたご意見をもとに、以下のように本校の活動をまとめました。これらを来年度の学校運営に生かしていきたいと思えます。

●校内研修

ICTが教育現場に導入され、教員間での情報共有ができた一年であった。今後は生徒が活用する場面をより多く取り入れた授業を作るための研修に取り組んでいく。
新学習指導要領が実施され、授業改善や学習評価の在り方等について引き続き研修を行っていく。

●学力向上

習熟度別少人数指導による細やかな指導ができているが、より効果が上がるようクラス編成の方法を検討する。
図書館にある素晴らしい本を生徒たちが利用できるように読書指導の時間を確保するよう工夫していく。

●特別支援教育

本校適応教室の運営について見直しを行った。今後も柔軟な対応ができるよう検討を重ねていく。
来年度は特別支援教育の視点での指導法やアプローチ法を享受できる研修会を実施する。

●教職員の健康

今年度より教職員の超過勤務時間の上限が月45時間以内、年間330時間以内と示され、教材研究、部活動指導等での働き方改革に努め、引き続き教職員の健康管理を行っていく。

●生徒指導

今年度はコロナ禍で新学期の始まりも遅れたためノーチャイムデイを実施しなかった。ペアや小グループでの対面の授業形態も難しかった時期があったが、限られた行事やグループ活動の中で、仲間づくりや他を思いやる場面が見られた。
挨拶や交通マナー等の学校全体の課題については、全校集会で生徒に投げかけ考えさせる機会を引き続きもっていく。

●キャリア教育

今年度は職場体験学習が中止となった。すずか夢工房やようこそ先輩等、生徒が生き方や将来について考える機会を持った。
来年度も職場体験学習は実施しないため、それに代わる学びの機会を設けていく。

●人権教育

道徳の授業を中心にすべての教育活動で人権教育を行うよう心がけた。各学年それぞれの人権課題に応じた人権学習に取り組んだ。
今年度は生き方学習が中止となり、来年度はぜひ実施したい。

●地域連携

今年度はコロナ禍で学校行事への保護者参加の機会が減り、同時に地域との連携の機会も激減した。
学校通信や学年通信等を通して、学校の教育活動についての発信を心がけていく。

学校長より

本校の今年度の取り組みについて、学校運営協議会委員の方々からご意見をいただきました。委員の方々には常日頃から、白鳥中学校をよりよくしたいという思いで大変熱心にご意見をいただけることに感謝しております。いただいたご意見を参考にして、更にこれからどのように改善していくべきか各担当で検討を続けていきます。

保護者の皆様には来年度も変わらぬご理解ご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

2年生 生き方学習 ジャストランペッター 中村好江さん

2月22日(月)6限目、すずか夢工房の講師のジャストランペッター中村好江さんにお越しいただき、2年生対象の「生き方学習」が行われました。ご自身がトランペットに携わることになった人生について、熱く語っていただきました。

生徒の感想からは、「努力をすればするほど後の自分に報われることがあるとわかった」「自分の夢に向かってまっすぐ進んでいく中村さんの姿に私も憧れた」等、中村さんのお話

に刺激を受けた様子が分かりました。
『あなたの前にあるその一歩でああなたの人生が変わる！勇気を出してその一歩を踏み出そう！』中村さんからの熱いメッセージをいただきました。



最後の学年行事 1. 2年生クラスマッチ

1年生は雨上がりの3月22日(月)、2年生は翌日にクラスマッチを行いました。各学年の最後のクラスでの行事、協力して取り組み、ゲームを楽しむ様子が見られました。

来年度も新しい学年、新しいクラスで、みんなで協力していけるよう、一人ひとりが集団に貢献していきましょう。



卒業式の準備・片付けの協力ありがとう

3月5日(金)1,2年生の皆さん、心を込めて掃除や会場づくりに取り組んでくれてありがとうございました。雨天予報のため駐車場のライン引きを延期しましたが、土日のうちにサッカー部、野球部がラインを引いてくれました。式後の片づけはバスケットボール部、バレー部、野球部が協力してくれました。

毎年、たくさんの人たちの協力で行事が成立しています。来年度も奉仕の気持ちを忘れずに、積極的に学校に貢献してくれると嬉しいです。

